

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 (中間配当を行う場合は毎年6月30日)
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-7777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード市場
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ibokin.co.jp/ir/notice.html (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主の皆様への
利益還元に関する基本方針

当社は、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を行うことを基本方針としております。株主の皆様への安定配当が実施できるよう今後も努めてまいります。

また、内部留保資金につきましては、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を図りながら、当社グループの経営基盤の整備・拡充等に有効活用し、当社グループの競争力及び収益力の向上を図ってまいります。

なお、取締役会の決議により、会社法第454条第5項に定める剰余金の配当(中間配当)ができる旨を当社定款に定めておりますが、当面は定時株主総会を決定機関とした原則年1回の期末配当のみを行うことを基本方針としております。

	2020年12月期	2021年12月期 (予想)
1株当たり 配当金	30.0円	30.0円

ホームページのご案内

詳しい企業情報や財務情報は、
当社ホームページをご覧ください。



IBOKIN

兵庫県たつの市揖保川町正條379番地 TEL 0791-72-3531(代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



BUSINESS REPORT

第37期
株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日

IBOKIN



安全・安心な社会と
豊かな自然のために

株式会社イボキン

証券コード 5699

資源循環型社会形成のため、 「都市鉱山開発企業」として 成長・発展してまいります。

代表取締役社長

高橋 克実



株主の皆様におかれましては、平素より当社グループ事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国は、高度経済成長期以降、生活を豊かにする日用品があふれるほど生産されました。また、インフラや生産設備をはじめとした様々な人工物が建造され、順次更新の時期を迎えつつあります。そしてこれらの中には鉄、銅、アルミニウムなどの金属資源が、天然資源の状態よりもはるかに取り出しやすいかたちで含まれています。このように日本国内には膨大な都市鉱山が存在し、その蓄積量は世界第3位を誇っています。

当社グループは当社及び連結子会社1社(株式会社国徳工業)で構成されており、解体事業、環境事業、金属事業の3つの事業セグメントを中心として、資源循環型社会形成のため、「都市鉱山開発企業」として成長・発展してまいります。

以前はメーカーなどの動脈産業に比べ、私たちの静脈産業はあくまでも後片付けのような目立たない存在

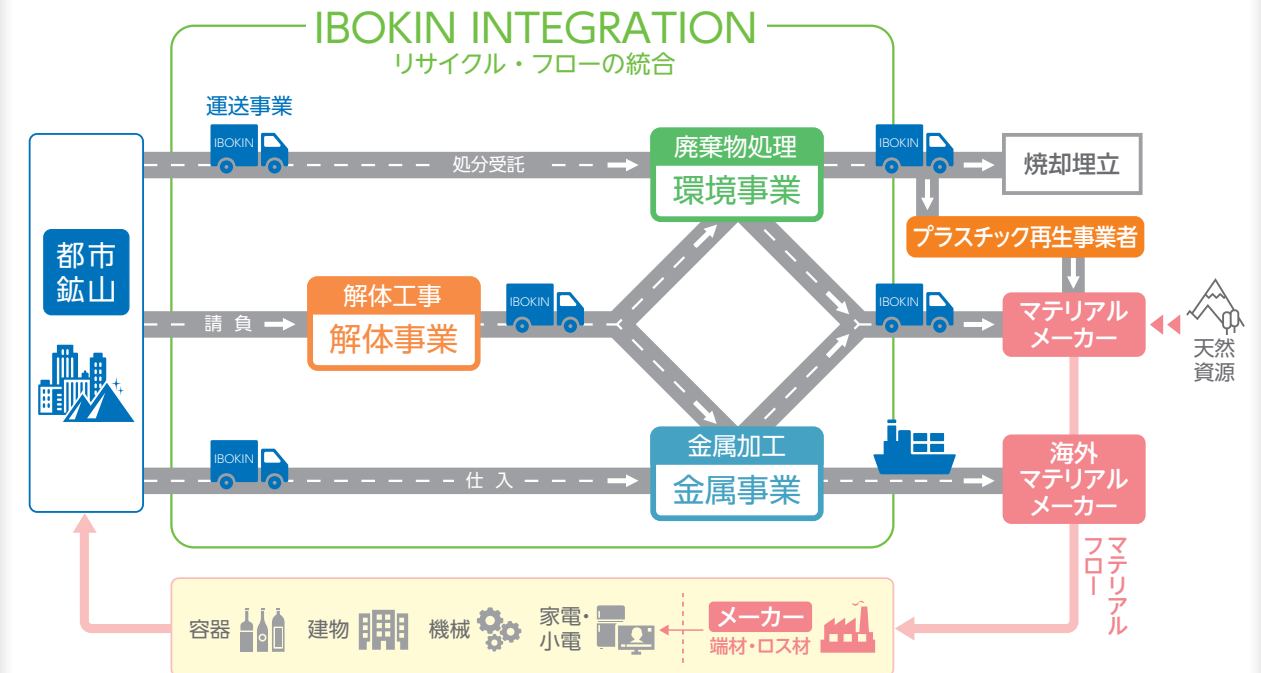
でしたが、深刻さを増す気候変動問題など、持続可能な社会づくりが世界的なテーマとなった今、私たち静脈産業が担うべき役割は以前にも増して大きくなってきています。

このような社会の変革期にあって、これまでわが国の先人達の努力によって生まれた、かけがえのない財産である都市鉱山を、一時の利益のために使い果たすのではなく、循環させる仕組みを作ること、しっかりと後世につないでいく姿勢がとても重要だと思います。

当社グループは、持続可能な社会を実現させるために、都市鉱山をどのように活用していくべきかを、より幅広く、より長期的な視点から本気で追求し、社会に発信していきます。そしてその姿勢を鮮明にするため、自らを「都市鉱山開発企業」と称し、この名のもとに力を結集し社会に貢献してまいります。

株主の皆様には、なお一層のご支援をいただきたく、今後もよろしくお願い申し上げます。

ビジネスモデルの変化



小型家電や電子機器類などを破碎した後の非鉄金属やプラスチックの選別ラインを更新して、破碎選別精度と処理能力を向上させました。その結果、従来埋立処理していたシュレッダーダストの大半を有価物としてプラスチック再生事業者に売却するように商流を見直すことができ、環境配慮と高収益が両立するビジネスモデルとなりました。

金属類の出荷先をグローバルに拡充し収益及びリサイクル率を高めてまいります。出荷先の拡充にともない金属類については自社の処理工程から発生したものだけでなく、各取引先からも積極的に集荷を進めて収益力向上を進めてまいります。



連結財務ハイライト

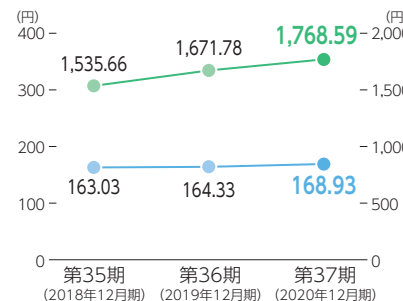
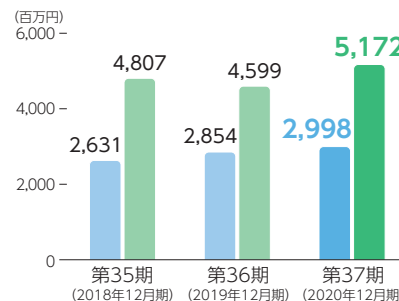
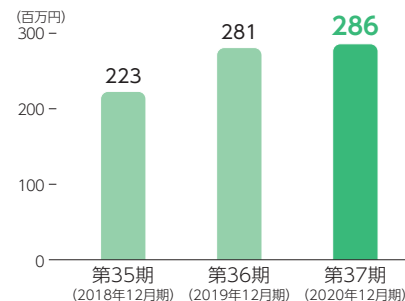
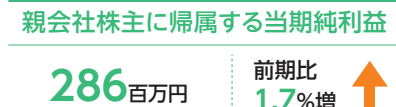
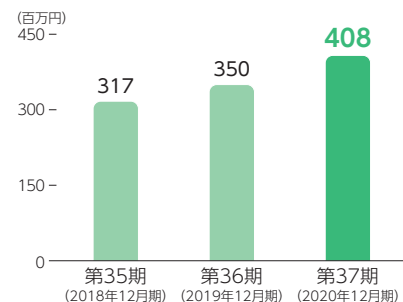
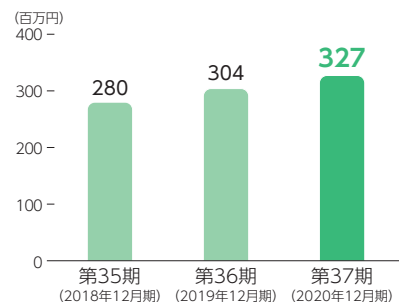
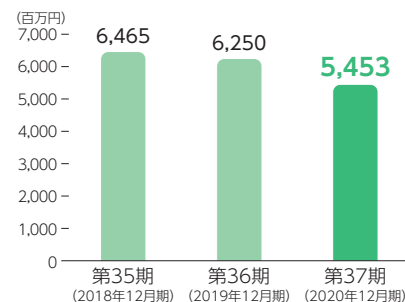
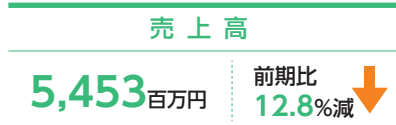
Consolidated Financial Highlights

事業別の概況

Operating Results

決算ポイント

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり解体、環境、金属の3事業の売上高は軟調。大型解体工事の完工によるリカバリーと経費削減により、グループ全体の利益は確保。



※2018年3月30日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、第35期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。



解体事業



売上高

1,383百万円

前期比 20.7%減 ↓

売上高
構成比
25.4%

解体工事の需要は、コロナ禍の影響もあり、大型案件9件を含め完工件数は196件と軟調となりました。また、損失が見込まれる工事に関して、受注損失引当金59百万円を計上しました。一方、解体工法の選択が奏功し、大幅な工期短縮を実現した大型案件がありました。

これらの結果、売上高は1,383百万円(前期比20.7%減)、営業利益は252百万円(同89.0%増)となりました。受注残高につきましても882百万円と順調に推移しております。



環境事業



売上高

1,425百万円

前期比 7.1%減 ↓

売上高
構成比
26.1%

産業廃棄物処理受託及び再生資源販売の取扱高は、顧客のニーズにあったサービスを提供するなど販路拡大を展開しましたが、コロナ禍の影響もあり、全般的に廃棄物の発生が減少しました。そのため廃棄物処理受託数量が23,987トン、再生資源販売数量が13,778トンとやや軟調に推移し、再生資源販売価格につきましても資源相場下落の影響を受けました。

これらの結果、売上高は1,425百万円(前期比7.1%減)、営業利益は47百万円(同58.1%減)となりました。



金属事業



売上高

2,643百万円

前期比 11.1%減 ↓

売上高
構成比
48.5%

スクラップの取扱高は58,250トンと軟調に推移しました。一方、鉄スクラップ等の資源価格については、1月から3月にかけて大きく下落し、5月中まで低迷が続きました。それ以降は回復に転じ、11月以降は中国のスクラップ輸入解禁を見込んだ需要増もあり価格が急騰しましたが、年間の平均価格は前年をやや下回る結果となりました。

これらの結果、売上高は2,643百万円(前期比11.1%減)、営業利益は27百万円(同52.8%減)となりました。

会社概要

(2020年12月31日現在)

設 立	1984年8月
商 号	株式会社イボキン
本 社	兵庫県たつの市揖保川町正條 379番地
工 場 ・ 支 店	本社工場、龍野工場、阪神事業所、 東京支店、福島支店、PMR工場、 最終処分場
資 本 金	130,598千円
従 業 員 数	150名 (連結)
事 業 内 容	解体事業、環境事業及び金属事業に よる総合リサイクル事業
連 結 子 会 社	株式会社国徳工業
ホームページアドレス	https://www.ibokin.co.jp/

役員一覧

(2021年3月30日現在)

代 表 取 締 役 社 長	高 橋 克 実
常 務 取 締 役	山 崎 喜 博
取 締 役	高 橋 守
取 締 役 (社 外)	永 津 洋 之
取 締 役 (社 外)	橋 本 法 知
常勤監査役 (社 外)	戸 塚 い づ み
監 査 役 (社 外)	朝 生 一 夫
監 査 役	富 高 重 則

株式の状況

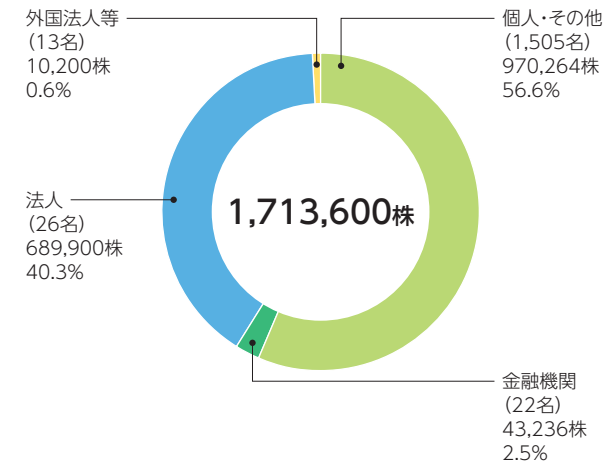
(2020年12月31日現在)

発行可能株式総数..... 6,400,000株
発行済株式の総数..... 1,713,600株
株主数 1,566名
大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
HS興産株式会社	640	37.75
高橋克実	140	8.26
高橋勇史	80	4.72
イボキン従業員持株会	51	3.03
松井允三	40	2.39
山崎喜博	20	1.18
高橋 守	18	1.06
SMBC日興証券株式会社	17	1.04
川島敏邦	15	0.94
宮武和寛	15	0.88

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 自己株式 (18,233株) は上記大株主から除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
4. 高橋克実氏は、親族との間で当社株式を引き受ける株式信託契約 (80千株) を締結したことにより、2021年2月19日で主要株主の異動が発生しております。異動後の持株比率は12.99%であります。

所有者別株式分布状況



TOPICS

TOPIC 1

部門横断的な営業体制を導入しました。

“明るく積極的に活動する”イボキンスピリットでピンチをチャンスに変える取り組みを、若い力が推進しています。コロナ禍にあって、事業部門が個別に行った従来型営業では業績を維持することが難しいのではないかという危機感から、部門横断的な営業体制をプロジェクトベースで導入しました。具体的には部門間の情報伝達を密にし、お客様のもとに複数部門の担当者が訪問するなどの取り組みを実施しました。その結果、例えば廃棄物の定期引取りのお客様から設備撤去のご相談をいただき、即座に商談に入るなど、お客様の「お困りごと」に対する提案を効果的・効率的に行うことで、より満足度の高いサービスを数多く残すことができました。今後も引き続き総合力を高める営業を行い、ソリューションビジネスへと進化させていきます。

TOPIC 2

シュレッダー (破砕機) 後工程の選別ライン設備を更新しました。 ～『持続可能な開発目標 (SDGs)』の達成に向けて～

当社の環境事業セグメントでは、2019年6月に更新しました本社工場の大型破砕機に続き、この度、その後工程にあたる「選別ライン」を最新鋭の設備に更新し、一連の生産ラインの能力が従来の1.5倍となりました。電子レンジや掃除機などの小型家電類からATMやコピー機などの事務用電子機器類などを破砕した後、鉄、プラスチック、アルミ及びステンレス、金銀滓を含むミックスメタル等、素材ごとに選別することにより、再生資源として効率よくリサイクルすることが可能になりました。当社は、事業を通じて『持続可能な開発目標 (SDGs)』の達成に向けて社会に貢献してまいります。



イボキンのCSR

個々の力をさらに発揮できる職場に向けて。 「わが社の健康宣言」取り組み事業所として登録されました。

2020年10月22日付で全国健康保険協会兵庫支部より「わが社の健康宣言」取り組み事業所として登録されました。社員一人ひとりの健康力を増進し、個々の力を一層発揮できる職場を目指して、健康診断受診率100%、ストレスチェックの実施、朝礼時のラジオ体操実施、屋外完全分煙・屋内完全禁煙、感染症予防活動、ノー残業デーの実施 (毎週水曜日)、働き方改革による残業時間削減、熱中症予防活動、メンタルヘルス研修会の実施、がんとの両立支援の推進 (GLTD) 活動に取り組んでまいります。

